

## 小林且典展

”山の標本” ブロンズと水彩

KATSUNORI KOBAYASHI



Galerie Ashiya Schule では、小林且典展 「”山の標本” ブロンズと水彩」を開催致します。

日常に存在する静物や植物などをテーマに、”蠟型“による独自のブロンズ鑄造や木彫、またそれらを被写体とした写真作品を制作してきた小林且典。彫刻の技法と写真の手法によって、素材そのものの美しさに迫りながら、静物の存在をとらえる試みを続けてきました。

本展では、「”山の標本” ブロンズと水彩」をテーマに、小林のブロンズを水彩作品に書き起こしたシリーズを中心に展示致します。静物から山の標本へとテーマは変遷し、彫刻、写真、水彩といったアプローチの違いや表現の多様性に驚かされつつも、小林且典作品に込められた「対象への眼差し」の中には、凜とした気配が佇んでいます。是非ご高覧ください。

<展覧会情報>

小林且典展  
”山の標本” ブロンズと水彩

**GALERIE ASHIYA SCHULE**      ギャラリーあしやシューレ  
3月3日(土) - 4月1日(日)  
12:00-18:00 (最終日 17:00 まで)

小林且典  
Katsunori Kobayashi

東京芸術大学美術学部彫刻科卒業（'87）同大学院修了（'89）

国立ブレラ美術アカデミー（'89-'95） [イタリア政府招聘給費留学]

フィスカルス滞在制作（フィンランド） [野村財団、スカンジナビアニッポンササカワ財団助成]（2010）

#### 主な個展

- 2017 東塔堂（東京）  
dessin（東京）
- 2016 森岡書店（東京）  
ギャラリーあしやシューレ（兵庫）
- 2015 Tokio Out of Place（東京）
- 2014 ギャラリーすずき（京都）
- 2013 “小林且典 薄白色の余韻” 兵庫県立美術館
- 2012 “小林且典 ひそやかな眼差し” 静岡市美術館  
みゆき画廊（東京）
- 2011 森岡書店（東京）
- 2010 ギャラリーすずき（京都）  
フィスカルスビレッジ（フィンランド）
- 2009 nca/nichido contemporary art（東京）
- 2007 ギャラリーすずき（京都）  
ギャラリー オカベ（東京）

豊科近代美術館 “安曇野でみる彫刻” 2007、ヨーロッパ デザインセンター（ミラノ） “90年代ミラノの美術” 1995、  
ダンテセンター（ラベンナ） “国際彫刻ビエンナーレ”（銅メダル） 1994, 1996、ピエモンテ州庁舎（トリノ） “ウン  
ベルト・マストロヤンニ賞”（2席） 1994、国立近代美術館（ローマ） “日本-イタリア 若い世代” 1992、イタリア  
文化会館（東京） “15人の日本の現代彫刻家たち” 1991、朝日新聞作品連載、シンポジウム参加など

#### 作品集

『小林且典 ひそやかな眼差し』（みすず書房） 2012 印刷製本特別賞・日本印刷産業協会会長賞、 『山の標本』（東塔堂） 2017、  
『WATERCOLORS』（東塔堂） 2017